

北陸地方整備局
千曲川河川事務所
資 料 配 付

配 付 平成21年7月21日(火)

平成20年度 優良工事等(千曲川河川事務所関係)の選定結果について

千曲川河川事務所関係の優良工事等について下記のとおり選定されましたのでお知らせします。

※優良工事等の表彰は、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その施工及び成果が特に優秀であって、他の模範となるものを選定し、表彰することにより、建設技術の向上と建設事業の推進に役立てることを目的として行っているものです。

優良工事(局長表彰)

請負者名	工 事 名
株式会社 福田組	千曲川飯田護岸工事

優良委託業務(事務所長表彰)

請負者名	業 務 名
社団法人 北陸建設弘済会	平成20年度千曲川河川事務所品質検査業務
株式会社 グリーンシグマ	河川水辺の国勢調査(植物調査河川環境基図作成)業務

優良技術者【業務委託】(事務所長表彰)

技術者名	請負者名	業 務 名
長沼 宏一	株式会社 東京建設コンサルタント 北陸支店	犀川上流域水利用状況検討業務

事務所長表彰の表彰式は、
平成21年7月24日(金) 11:00～12:00
千曲川河川事務所大会議室(長野市鶴賀峰村74 Tel026-227-7611)
にて行われます。

問い合わせ先
国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所
副所長(技術) 白井 正己
品質確保課長 水澤 和久
電話026-227-7611
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

平成20年度完成 優良工事 [局長表彰]

請負者	株式会社 福田組	事務所名	千曲川河川事務所
	代表取締役社長 伊藤 修之助	工期	平成20年 2月29日から 平成21年 2月27日まで
	新潟県新潟市中央区一番堀通町 3番地10	請負金額	521,388千円
工事名	千曲川飯田護岸工事	工事場所	長野県上高井郡小布施町飯田地先
工事内容	河川土工1式 鋼矢板基礎工L=976m 連節ブロック張工A=13,432㎡ 覆土工V=4,500m ³		
選定理由	<p>本工事は、千曲川右岸、飯田地先の堤防漏水対策工事である。施工場所は、粉塵を嫌うリンゴ畑が隣接する現場条件であった。</p> <p>このような条件下、限られた工期内で工事を完成させる為、耕作者等地元関係者と協議・調整を行った。</p> <p>綿密な工程計画と矢板打設施工精度向上の為トランシットによる2方向からの鉛直度の確認など工夫ある施工計画や、粉塵防止対策に努め、積極的に環境対策を行い、トラブルも無く無事完成させた。</p> <p>特に、春と収穫時期には住民と調和を図りながら路面清掃車、散水車等による粉塵防止対策を行い、果樹被害防止に努めた。</p> <p>また、地域へ水防地図の配布するなど、積極的に治水事業のPR活動に努めた。</p>		



リンゴ畑

施工状況(覆土前)



完成

平成20年度完成 優良委託業務 [事務所長表彰]

請負者	社団法人 北陸建設弘済会 理事長 大林 厚次 新潟市江南区亀田工業団地 2丁目3番4号	事務所名	千曲川河川事務所
		業務名	平成20年度千曲川河川事務所品質 検査業務
		工期	平成20年 4月 1日から 平成21年 3月31日まで
		請負金額	15,750千円
選定理由	<p>本業務は千曲川河川事務所管内の河川工事に関する品質検査、工事管理および施工体制確認を行ったものである。</p> <p>公共工事を取り巻く環境の現状を的確に認識し関係法令・各種技術基準・契約書及び設計図書を十分熟知するとともに、監督職員との情報共有の為「特記仕様書確認一覧表」「施工計画確認一覧表」等の資料を独自に作成し業務を遂行した。</p> <p>また、社内全体の教育訓練や業務遂行上に生じる課題を解決するフォローアップ体制の整備を図った。その成果により工事契約の適正な履行、工事目的物の品質確保等が図られた。</p>		

平成20年度完成 優良委託業務 [事務所長表彰]

請負者	株式会社 グリーンシグマ 代表取締役社長 平田 敏彦 新潟市西区坂井700番地1	事務所名	千曲川河川事務所
		業務名	河川水辺の国勢調査(植物調査河川環境基図作成)業務
		工期	平成20年 7月16日から 平成21年 3月10日まで
		請負金額	15,855千円
選定理由	<p>本業務は、河川を環境という観点からとらえた基礎データの系統的な収集・整理を図る「河川水辺の国勢調査」の一環として、河川環境基図を作成したものである。</p> <p>本業務の遂行に当たっては、空中写真を判読した植生図を作成し、これを基に水域調査で得られた瀬や淵等の情報及び構造物調査で得られた護岸や河川横断工作物等を加えた図を作成するものであり、河川環境情報図の基図となる重要な作業であった。</p> <p>図化に当たっては、「判読キー」を抽出してサンプル的に現地調査及び判読した図を基に不明箇所を現地調査を実施するのが一般的であるが、今回の業務では直轄管理区間135km全区間において現地調査を行い、より正確な植生図を作成した。</p> <p>水域調査においても植生図と同様に全川にわたり現地調査を行い、また過去データと比較・解析することにより河川のダイナミズムの実態把握に努めた。</p> <p>外来種においては分布拡大が大きな問題となっており、群落区分として分布を把握するほか、群落区分になっていない種についても分布の把握に努め、各群落ごとの面積を比較することにより生育地の環境条件の把握により駆除、河道変遷との関わりを検討した。</p> <p>以上を基に植生や瀬・淵等、川の変遷解析を通じて、生物生息基盤となる植物の分布や多様な水辺空間の現況を把握することができた。本成果は、今後の河川管理に大きく寄与するものである。</p>		

平成20年度完成 優良建設技術者(業務) [事務所長表彰]

請負者	長沼 宏一	事務所名	千曲川河川事務所
	管理技術者	業務名	犀川上流域水利用状況検討業務
	(株)東京建設コンサルタント北陸支店	工期	平成20年 11月 1日から 平成21年 3月20日まで
	支店長 荒井 勝	請負金額	13, 230千円
	新潟市中央区東大通1丁目2番23号		
選定理由	<p>本業務は、犀川上流域における河川流入、地下水等の水環境の状況を把握し、松本盆地における地下水流動機構について、これまでの知見と今年度調査を基に精査するとともに、三川合流地点の湧出メカニズムの解明を行い、現在策定中の信濃川水系河川整備計画において今後目指すべく健全な水環境の課題と対策についてとりまとめをおこなったものである。</p> <p>▼本業務の遂行に当たっては、地下水流動の機構を把握するために、既存の水文資料や水質資料、地下水利用実態や気象資料などの基礎資料のほか学識者の助言により新たな水質や地質の把握が重要なポイントであった。</p> <p>▼地下水流動を把握するため、前回2回行われた地下水位一斉観測の結果に加え、新たに湧水期に1回観測を行うとともに、主要地点で水質調査等も行い多角的な検討を行った。</p> <p>▼別業務で行った地質調査結果と併せることにより、松本盆地の地下水流動と、地下水が集まり複雑な湧出等三川合流地点のメカニズムについて、ほぼ解明することができた。</p> <p>▼本業務の成果は、流域市町村の地下水利用計画に役立つとともに整備計画策定時の水環境計画に大きく寄与するものである。</p>		